



いのちの尊さ、大切さ教室



～ いのちの尊さ、大切さについて、みんなで考えてみませんか？ ～

○ 「いのちの尊さ、大切さ教室」とは？

本教室は、犯罪被害者やその御家族等から、自らの体験を講演していただき、犯罪被害の理不尽さ、犯罪被害者等の置かれる状況、被害に遭うことによる周囲の反応を直接的に知ること、犯罪被害の実態や生命の大切さについての理解を深め、地域社会において犯罪被害者等を支える気運を醸成するとともに、犯罪を犯してはならないという規範意識の向上と犯罪を許さない社会の構築を図り、被害者も加害者も出さない、安全で安心なまちづくりを目的として開催しています。

○ 開催期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間

○ 実施主体(共催)

- ・ 岩手県警察本部
- ・ 岩手県
- ・ 岩手県教育委員会
- ・ 公益社団法人いわて被害者支援センター



○ 講演の内容

- ・ 犯罪被害者遺族等による講演
- ・ 県民課被害者支援室員による講演

※ 教室の開催日及び講演内容等の御希望をお聞きした上で、講師と日程調整して決定することとなります。

○ 申込み・問合せ先

教室開催の申込みは、岩手県警察本部県民課被害者支援室（代表019-653-0110）又は管轄の警察署警務課まで御連絡をお願いします。

受講者からの感想

- 講演を聴くまでは、犯罪被害は自分にとってどこか他人事のような感覚があったが、身近な場所でも起こる可能性があることを知り、犯罪被害に対する考え方や見方などが大きく変わった。
- 1日1日を大切に過ごし、「被害者」にも「加害者」にもなってはいけないと感じた。
- 「生きているのがつらい」と思うことが今までに何度かあったが、生きたくても生きられなかった人がいることを知り、命は大切にしなければいけないし、家族や友達を大切にしようと思った。